

1. 科目名 (単位 数)	心理的アセスメント／心理検査法 (4 単位)		3. 科目番号	PSMP1110
2. 授業担当教員	齋藤 瞳			
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	臨床心理学において、必須の知識である必要な心理査定技術の基礎を習得する。担当教員が選定した代表的な心理検査について、1. 理論的背景、2. 実施方法、3. 結果の整理方法、4. 解釈方法、5. 利用上の注意点、6. 適応範囲と限界 などを理解することを目的とする。心理検査法の基礎的な事項（理論や施行法）を身に付けるために、演習を重視する。 具体的には、 1. 担当箇所の心理検査をレジュメにまとめて、プレゼンテーションを行う。 2. 検査者・被検査者体験、心理検査の事例等に関してグループディスカッションを行う。 3. 実施した心理検査に関して、レポートを提出する。 といった方法で、各検査法の特徴と臨床現場での使用の仕方を体験的に学ぶ。 また、時間がゆるせば、1. 査定法の選び方、2. 環境の整え方、3. 結果の報告やフィードバックの仕方 などについても検討する。			
8. 学習目標	心理査定法の中でも、特に心理検査法に焦点をあてる。演習を行うことによって心理査定の基礎的な技術を身につけ、活用できる。			
9. アサシメント (宿題) 及びレポ ート課題	・心理検査を実施し、その結果について整理・解釈し心理検査報告書としてまとめることをレポート課題とする。			
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 松原達哉編著『臨床心理アセスメント新訂版』丸善出版 【参考書】 津川律子編著, 遠藤裕乃編著『第 14 巻心理的アセスメント (公認心理師の基礎と実践)』遠見書房			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. ディスカッションに参加し、自分の意見を述べることができる。 2. 心理検査の概要について理解を深め、適切な発表ができる。 3. 心理検査について学んだことについて、明瞭かつ論理的な文章で説明ができる。 ○評定の方法 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢、心理検査に関する発表、課題レポート等を総合して総合的に評価する。 1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢 30% 2. 心理検査に関する発表 30% 3. 課題レポート 40%			
12. 受講生への メッセージ	人に迷惑をかける行為を慎むことは受講する上での基本事項ですが、実習が基本となるため、欠席・遅刻・早退はしないように、またレポートの提出期限の厳守も心がけてください。 心理検査を通して自己理解・他者理解を深め、日常生活・現場で生かす力をつけることができるよう、理解できないことは積極的に質問し、主体的に学ぼうとする姿勢で授業参加することを期待します。			
13. オフィスアワー	初回授業時にお伝えします。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 心理検査法とは？	事前学習	関心のある心理検査に関して、概要を調べる	
		事後学習	授業で取り上げる心理検査の概要を確認	
第 2 回	心理検査における留意点	事前学習	関心のある心理検査を 1 つ選択し、概要を理解する	
		事後学習	自身の発表担当心理検査に関して調べ、発表までの見通しをたてる	
第 3 回	検査者・被検査者関係の体験的理解 (心理検査施行・ロールプレイ)	事前学習	心理検査実施時の留意点についての確認	
		事後学習	ロールプレイを通して、気づいたこと・考えたことを整理	
第 4 回	検査者・被検査者関係の体験的理解 (心理検査結果整理)	事前学習	心理検査の結果算出方法の理解	
		事後学習	実施した心理検査についての結果整理	
第 5 回	検査者・被検査者関係の体験的理解 (心理検査フィードバック)	事前学習	心理検査フィードバック時の留意点について確認	
		事後学習	ロールプレイを通して、気づいたこと・考えたことを整理	
第 6 回	検査者・被検査者関係の体験的理解 (報告書作成)	事前学習	心理検査報告書作成時の留意点について確認	
		事後学習	心理検査報告書の完成	
第 7 回	類型論と特性論	事前学習	類型論と特性論について調べる	
		事後学習	類型論と特性論の各特徴を理解する	
第 8 回	質問紙法とは	事前学習	質問紙法について調べる	
		事後学習	質問紙法の有用性と限界について理解する	
第 9 回	YG 性格検査と NEO-PI-R の相違点	事前学習	YG 性格検査の概要を調べる	

		事後学習	YG 性格検査の特徴と限界について理解を深める
第 1 0 回	NEO-PI-R 性格検査の実施	事前学習	NEO-PI-R の概要を調べる
		事後学習	NEO-PI-R について、自身の結果をまとめ自己理解を深める
第 1 1 回	NEO-PI-R の検査結果の整理	事前学習	NEO-PI-R の心理検査の結果算出方法の理解
		事後学習	NEO-PI-R の実施した心理検査についての結果整理
第 1 2 回	NEO-PI-R の解釈、心理検査報告書作成	事前学習	NEO-PI-R の心理検査の解釈について理解する
		事後学習	NEO-PI-R の心理検査の結果を心理検査報告書にまとめる
第 1 3 回	ジョインズ人格適応型心理検査とは	事前学習	ジョインズ人格適応型心理検査について調べる
		事後学習	ジョインズ人格適応型心理検査の有用性と限界について理解する
第 1 4 回	ジョインズ人格適応型心理検査の実施	事前学習	ジョインズ人格適応型心理検査の背景となる理論について調べる
		事後学習	ジョインズ人格適応型心理検査について、自身の結果をまとめ自己理解を深める
第 1 5 回	ジョインズ人格適応型心理検査の検査結果の整理	事前学習	ジョインズ人格適応型心理検査の結果算出方法の理解
		事後学習	ジョインズ人格適応型心理検査についての結果整理
第 1 6 回	ジョインズ人格適応型心理検査の解釈、心理検査報告	事前学習	ジョインズ人格適応型心理検査解釈について理解する
		事後学習	ジョインズ人格適応型心理検査結果を心理検査報告書にまとめる
第 1 7 回	描画法、バウムテスト・人物画とは	事前学習	描画法の概要を調べる
		事後学習	描画法の有用性と限界について理解する
第 1 8 回	HTPP の実施	事前学習	HTPP の概要を調べる
		事後学習	HTPP について、読み取り方について理解を深める
第 1 9 回	HTPP 検査の検査結果の整理	事前学習	自分自身の結果について理解を深める
		事後学習	HTPP についての結果整理
第 2 0 回	HTPP 検査の解釈、心理検査報告書作成	事前学習	HTPP の解釈について理解する
		事後学習	HTPP の結果を心理検査報告書にまとめる
第 2 1 回	作業検査とは	事前学習	作業検査について調べる
		事後学習	作業検査の有用性と限界について理解する
第 2 2 回	職業興味検査・職業適性検査とは	事前学習	業適性検査について調べる
		事後学習	業適性検査の有用性と限界について理解する
第 2 3 回	知能検査とは	事前学習	知能検査について調べる
		事後学習	知能検査の有用性と限界について理解する
第 2 4 回	田中ビネー知能検査とウェクスラー知能検査	事前学習	知能検査の実施・結果の整理方法を理解する
		事後学習	知能検査結果の解釈方法、フィードバック時の留意点について整理する
第 2 5 回	ロールシャッハテストとは	事前学習	ロールシャッハテストの理論的背景について概要を調べる
		事後学習	ロールシャッハテストの有用性と限界について理解する
第 2 6 回	ロールシャッハテスト体験	事前学習	ロールシャッハテストの実施方法と結果のまとめ方に関して概要を調べる
		事後学習	ロールシャッハテストを実施する際の留意点について理解する
第 2 7 回	TAT とは	事前学習	TAT の理論的背景について概要を調べる
		事後学習	TAT の有用性と限界について理解する
第 2 8 回	TAT 体験	事前学習	TAT の実施方法と結果のまとめ方に関して概要を調べる
		事後学習	TAT を実施する際の留意点について理解する
第 2 9 回	心理検査についてのまとめ	事前学習	学習した各心理検査について特徴を整理する
		事後学習	心理検査を通じた自己理解と他者理解に関して自身の考えを整理する
第 3 0 回	心理アセスメントとは	事前学習	心理アセスメントについて調べる
		事後学習	心理検査と心理アセスメントについて考察を深める